

brother

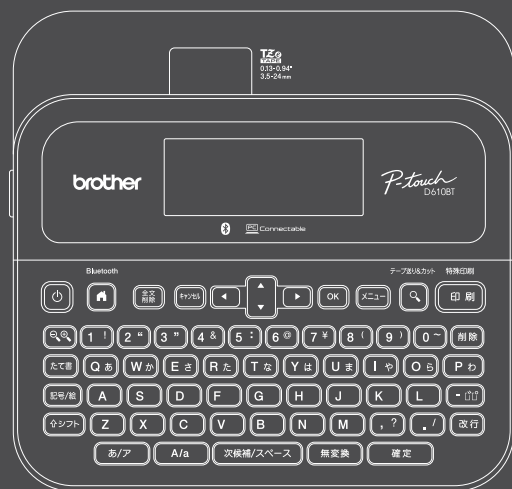
TZe
TAPE

P-touch



D02RDV001A

PT-D610BT



キーボードのレイアウトは国によって異なる場合があります。

このたびは、本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機では、耐久性が高く高品質・プロ仕様のラベルを作成することができます。加えて、幅広いテープカセットを使用できるため、多彩なカラーでさまざまな幅のラベルを印刷できます。本機をお使いになる前に、安全上のご注意を含め含め、必ず本書をお読みください。お読みになった後も大切に保管してください。

「よくあるご質問(Q&A)」、「お困りのときは」、およびソフトウェアや製品マニュアルのダウンロードは、support.brother.co.jpをご覧ください。

消耗品

ブラザーTZeテープカセット	ご利用いただけるテープ幅：3.5 mm、6 mm、9 mm、12 mm、18 mm、24 mm
ヘッドクリーニングテープ	TZe-CL4

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

本書は、お使いになるための注意事項を記載しています。本書はお読みになったあとも大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。ご使用になる前に、必ず、全ての取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。

- ・内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店、または弊社コールセンターにご依頼ください。
- ・異常な動作、エラー、またはケーブル破損の場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、すべてのケーブルを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社コールセンターに修理をご依頼ください。
- ・地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他特殊な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
- ・本機の使用または使用不能から生じるいかなる他の損害（消失、事業利益の損失、遺失利益、事業の中断、通信手段の消失または第三者からのいかなる請求など）に関して、当社は一切責任を負いませんので、ご了承ください。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品で作成したラベルの使用、故障・修理・消耗品によるデータの消失・変更により生じた損害や利益の損失については、当社は一切責任を負わず、第三者からの請求も受け付けません。
- ・ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また、提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。
- ・さらに詳しい情報、ソフトウェアやネットワークでの本機に関する情報は、弊社サポートサイト（support.brother.co.jp）の製品マニュアル内の「ユーザーズガイド」を参照してください。
- ・製品ドキュメントの最新バージョンは、Brother サポート Web サイト support.brother.co.jp で入手できます。
- ・利用可能なモデル、アクセサリ、および消耗品は、国または地域によって異なる場合があります。
- ・本機は日本国内でのみお使いいただけます。

警告

警告や指示を無視して製品を取り扱おうと、死亡または重傷につながる危険の可能性を示します。

- ・本機、ACアダプター、USBケーブル、アルカリ乾電池は、以下の場所では使用、保管しないでください（液漏れ・火災・感電・故障・発火の原因となります）：
 - 浴室・給湯器の近くなど水がかかる場所、湿気が多い場所や著しく温度が低い場所。*
 - 雨・霧などが直接入りこむ場所。
 - ほこりの多い場所。
 - 火気・熱機器の近く、強い直射日光が当たるなど高温の場所。
 - 炎天下の閉めきった車内。
 - 結露する場所。
 - 標高の高い場所。
 - 雷が発生している時。
- ・異物が本機に入った状態で使用しないでください。万一、本機に水や金属などの異物が入った場合は、速やかにACアダプターをコンセントから抜き、電池を外して、お買い上げの販売店、またはブラザーコールセンターにご連絡ください。
- ・万一、異物が本機に入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて電池を取り出し、お買い上げの販売店、またはコールセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- ・煙が出ている、変な臭いがする、変な音がするなどの異常な状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜き電池を外して、お買い上げの販売店、またはコールセンターに修理をご依頼ください。
- ・損傷したACアダプターは使用しないでください。本機、ACアダプター、USBケーブル、アルカリ乾電池の破損や故障を避けるため、以下の行為はおやめください。
 - 重いものは乗せないでください。
 - 分解、改造しないでください。
 - 落としたり、叩いたりしないでください。
 - 濡れた手で触れる、飲み物をこぼすなど、水で濡らさないでください。
- ・本機が入っていた袋は、乳幼児やお子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
- ・医療機器の周辺など、特殊な環境でご使用になる場合には、電磁波の問題がないか事前に十分に確認してください。電磁波が影響を与える場合がありますので、利用中の医療機器周辺では使用を中止してください。
- ・心臓ペースメーカーをお使いの方は、異常を感じたら本機から離れてください。そして、直ちに、医師にご相談ください。
- ・USBケーブルやACアダプターを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。

* 詳細は、「ユーザーズガイド」の「仕様」をご覧ください。

- ACアダプターやプラグを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。
- 指定のACアダプターのみを使用してください。
- 本機専用のACアダプター、およびUSBケーブル以外は使用しないでください。お使いになる人や他の人への危害、製品やその他の財産への損害につながるおそれがあります。本機専用のACアダプターおよびUSBケーブル以外を使用したことによる誤動作や故障などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 同梱のACアダプターおよびUSBケーブルは本機専用です。本機以外には使用しないでください。
- ACアダプターはコンセント（AC 100 V～240 V 50/60 Hz）で使用してください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。ゆるみのあるコンセントには差し込まないでください。
- 電池が損傷または液漏れしている場合は使用しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かない場所に保管してください。飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- 電池の取り外しや交換には、ピンセットや金属製のペンなど鋭利なものは使用しないでください。
- 電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池に直接ハンダ付けしないでください。
- 電池の極性+-を逆にして使用しないでください。
- 電池の（+）と（-）を針金等の金属で接続しないでください。
- 電池は一般のゴミと一緒に廃棄しないでください。
- カッターに指や身体の一部を近づけないでください。
- カッター刃に触れたり、指を入れたりしないでください。けがの原因となります。
- プrintヘッド近くの金属部品には触れないでください。Printヘッドは使用中および使用直後は非常に熱くなっています。手で直接触れないでください。

▲ 注意 警告や指示を無視して製品を取り扱うと、軽度または中程度の負傷につながる危険の可能性を示します。

本機、USBケーブル、ACアダプター、アルカリ乾電池

- 指定の単3アルカリ乾電池（LR6）のみを使用してください。
- 古い電池と新しい電池の組み合わせ、または異なる種類、メーカー、またはモデルの組み合わせを使用しないでください。
- 本機を箱から取り出したり移動したりするときに、本機を落とさないでください。けがをする恐れがあります。
- カセットカバーの開閉時に指を本機にはさまないようにしてください。
- 本機を使用しない時は、お子様の手の届かないところに保管してください。また、お子様が本機の部品やラベルを口に入れないように注意してください。飲み込んでしまった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- 本機やテープは、乳幼児やお子様の手の届かない所に保管してください。
- 本機は、平らで、水平、安定した場所に保管してください。
- 本機を長期間使用しないときは、安全のため必ずACアダプター、電源コードを本機とコンセントから抜いて保管してください。
- ディスプレイを押さないでください。
- ACアダプターをコンセントから抜く場合は、必ずACアダプターを持って抜いてください。
- ACアダプターで電気回路に過負荷をかけないでください。
- カッターユニットを操作するときは、カセットカバーを開かないでください。
- カッターユニットに過度の圧力を加えないでください。



JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B



「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

「FH」 : 変調方式を表す。

「2」 : 移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離を表す。

 : 全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

Bluetoothご使用時のご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

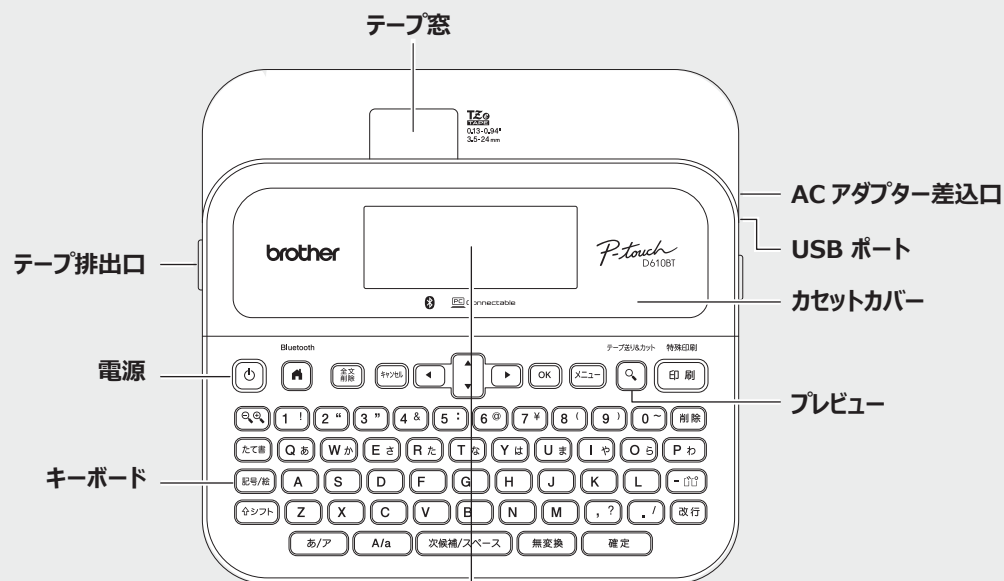
1. 製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにメインスイッチをオフにして、製品の使用を停止してください。
3. その他、製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせください。

無線モジュール内蔵について

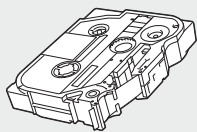
この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

お使いになる前に

1. 本体各部の名前



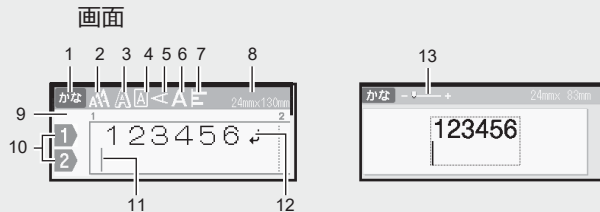
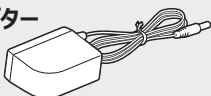
スターターテープカセット



USBケーブル



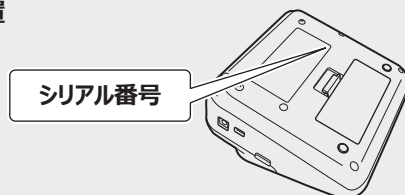
ACアダプター



1. 入力モード
- 2-7. 書式アイコン
8. テープ幅 x ラベル長
9. ブロック番号
10. 行番号
11. カーソル
12. 改行マーク
13. ズーム

同梱の付属品は、国や地域によって異なることがあります。

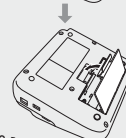
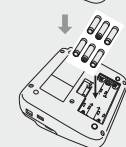
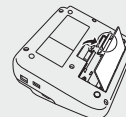
シリアル番号の位置



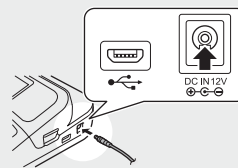
2. 電池をセットする、またはACアダプターを接続する

ラベルライターを使用する前に、保護材を取り外します（初回のみ）。

電池



ACアダプター



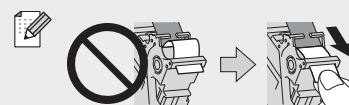
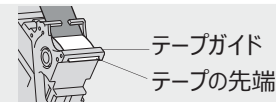
- ACアダプター（AD-E001）を使用する場合：
 - 電源コードをラベルライターの側面にあるACアダプター差込口に差し込みます。
 - 近くの一般的なコンセントに電源プラグを差し込みます。メモリをバックアップするために、単3アルカリ乾電池（LR6）とACアダプターを併用することをお勧めします。
- ラベルライターのメモリ保護とバックアップのため、ACアダプターをコンセントから抜く時は、単3アルカリ乾電池（LR6）をラベルライターに挿入したままにしておいてください。
- 2分以上電源が切れた状態が続くと、文章や書式の設定はすべて消去されます。メモリに保存されたテキストファイルも消去されます。
- ラベルライターを長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池は通常のゴミ収集には出さず、適切な回収施設に廃棄してください。また、適用される国や地域の規制すべてに必ず従ってください。
- 電池を保管または廃棄する際は、ショートを防ぐため、（ゼロハンテープなどで）電池を巻いてください。

（電池の絶縁例）

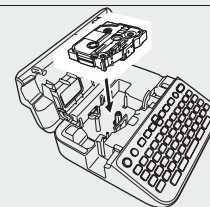
1. ゼロハンテープ
2. アルカリ乾電池



3. テープカセットを挿入する



- テープガイドの下にテープを通したら、先端を引っ張ってテープのたるみを取り除いてください。
- テープカセットの挿入または取り外しを行う時は、テープがラベルライター内に詰まらないようにしてください。



1. カセットカバーの下の図に従って、テープカセットを挿入します。テープの先端がテープ排出口に向いていることを確認します。
2. テープカセットをラベルライターに押し込んで所定の位置にロックし、カセットカバーを閉めます。

4. 電源を入れる/切る

電源を入れる を押します。

電源を切る ラベルライターの電源が切れるまで、 を長押しします。

ラベルライターから印刷する場合は、以下の手順に進みます。
→ 1. ラベルライターから印刷する

パソコンから印刷する場合は、以下の手順に進みます。
→ 2. パソコンから印刷する

モバイル端末から印刷する場合は、以下の手順に進みます。
→ 3. モバイル端末から印刷する

ラベルライターをお使いになる前に

1. ラベルライターから印刷する

手順 1 文字を入力する

手順 2 ラベルのプレビューをする

手順 3 ラベルを印刷する

- 画面の指示に従ってラベルを印刷します。
- 印刷設定の変更に関する詳細は、「基本的な操作」を参照してください。



2. パソコンから印刷する

Windows

ブラウザのアドレスバーに「<http://install.brother>」と入力し、画面の指示に従ってプリンタードライバーとP-touch Editorをダウンロードしてインストールします。

Mac


Macから印刷を行うには、App StoreからP-touch Editorをダウンロードします。ドライバーをダウンロードしてインストールする必要はありません。



- パソコンから印刷する場合、同梱のUSBケーブルかBluetooth接続でラベルライターとパソコンを接続する必要があります。
- 本ラベルライターは、Wi-Fi接続には対応していません。

ソフトウェア

機能

プリンタードライバー	Windowsのパソコンを使ってラベルライターから印刷する際に必要となるソフトウェア。
 P-touch Editor	パソコン用ラベル作成ソフトウェア。このアプリケーションには描画ツールが内蔵されており、さまざまな書体や文字装飾、枠、インポート画像、バーコードを使った複雑なレイアウトの幅広いカスタムラベルを印刷することが可能です。

3. モバイル端末から印刷する

アプリのインストール

App StoreかGoogle Play™から以下のアプリをダウンロードします。



Brother
iPrint&Label

バーコード、装置用ラベル、フォルダタブ用ラベルなど、ビジネスで使用するラベルを作成します。

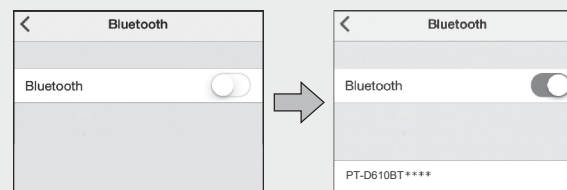


テープを節約するために、Brother iPrint&Labelで「送りなし印刷」設定を有効にしてください。ラベルを印刷し、新しいラベル印刷の準備ができるまでは、ラベルライターに最後のラベルを残しておきます。

Bluetoothを有効/無効にするには

1. ラベルライターの電源が入っていることを確認します。
2. **[Home]** → **[設定]** → **[OK]** / **[確定]** → **[Bluetooth]** → **[OK]** / **[確定]** → **[Bluetooth (オン/オフ)]** → **[OK]** / **[確定]** → **[オン]/[オフ]** → **[OK]** / **[確定]** の順に押します。

Bluetooth接続でラベルライターとモバイル端末をペアリングする



1. モバイル端末の設定メニューを開き、Bluetoothをオンにします。
2. ラベルライター正面に貼ってあるアプリケーションダウンロードラベルに表示されているペアリング番号を使用します。

- ラベルライターにPIN入力のプロンプトが表示されたら、「0000」と入力します。
- ご使用のモバイル端末によって、ペアリングの手順が若干異なる場合があります。
- Bluetooth接続でモバイル端末がラベルライターを検出できない場合は、以下を確認してください。
 - モバイル端末をラベルライターにできるだけ近づけてください。
 - ラベルライターとモバイル端末の間に、電子レンジなどの電波を放出する機器や障害物がないことを確認してください。
- ペアリング中にBluetoothパスキーがラベルライターの画面に表示されたら、モバイル端末と同じBluetoothパスキーが表示されていることを確認し、[OK]を押します。
- 本ラベルライターは、Wi-Fi接続には対応していません。

初期設定

バックライト明るさ調整		バックライト明るさ調整を調整して、画面を読みやすくします。 [設定] → [調整] → [バックライト明るさ調整] → [-2]~[+2]
リアルタイムプレビュー表示モード		実際のラベルイメージを確認しながら編集できます。 [設定] → [入力モード表示選択] → [リアルタイムプレビュー表示]
印刷プレビュー表示モード		書式設定を確認しながら編集でき、適宜ラベルイメージを確認できます。 [設定] → [入力モード表示選択] → [印刷プレビュー表示]

文字を入力する

ひらがな/カタカナ切り替え		キーを押すごとに「ひらがな」と「カタカナ」の入力モードを切り替えます。
大文字/小文字切り替え		キーを押すごとにアルファベットの「大文字」と「小文字」の入力モードを切り替えます。
改行		を押すと、新しい行を開始します。 各テープ幅の最大行数： 24 mm：7行 18 mm：5行 12 mm：3行 9 mm、6 mm：2行 3.5 mm：1行
ブロック		1つのラベルに複数の行または文字サイズを含める際に使用します。 最大：9ブロック
文章 & 書式設定を削除する		文章 & 書式設定を削除します。 1度に1文字ずつ削除： [削除] → [文章のみ] → [確認] すべての文字を削除： [全文削除] → [文章のみ] → [確認] 文章 & 書式設定をすべて削除： [全文削除] → [文章 & 書式設定] → [確認]

文字を入力する（続き）

タブ挿入		タブを挿入します。 [メニュー] → [タブ] → [確認] タブシンボル () をLCD画面上に表示します。 ※ディスプレイ表示モードが「印刷プレビュー表示」の時のみタブシンボルを表示します。
タブ長		タブ長を設定します。 [メニュー] → [タブ長] → [確認] → [値を選択]
たて書		文字の入力後 を押すと入力した文字がたて書になります。 を押してから文字を入力すると、たて書を入力できます。
ラベル長		ラベル長を設定します。 [自動]：文章の長さに合わせてラベル長を自動で調整します。 [メニュー] → [ラベル長] → [確認] → [値を選択]
記号		記号、単位、画像を挿入します。 [記号/絵] → [カテゴリを選択] → [確認] → [記号を選択]
枠		ラベルに飾りの枠を追加します。 [メニュー] → [枠] → [確認] → [枠のカテゴリを選択] → [確認] → [枠を選択]

書体を変更する

書体を変更する		ラベルの書体、文字サイズ、文字幅、文字装飾、文字揃え、文字間を変更します。 [メニュー] → [書体/文字サイズ/文字幅/文字装飾/文字揃え/文字間] → [書体を選択] → [確認] → [値を選択]
行ごとに書体を変更する		行の書体、文字サイズ、文字幅、文字装飾、文字揃え、文字間を変更します。 [Shift] + [メニュー] → [書体/文字サイズ/文字幅/文字装飾/文字揃え/文字間] → [書体を選択] → [確認] → [値を選択]

余白を設定する

自動サイズ縮小優先		ラベル長に合わせて自動で文字サイズを調整します。 [サイズ優先]：ラベル長を調整します。 [文字幅優先]：50%までは文字幅を縮小して調整します。 [設定] → [自動サイズ縮小優先] → [確認] → [サイズ優先] / [文字幅優先]
余白を設定する		入力された文字の左右の余白を設定します。 [余白小]：最初のみ余白部分を約23 mm挿入し、続くラベルの左右には余白を2 mm挿入します。 [余白あり]：各ラベルの文字の左右に約25 mmの余白を挿入します（初期設定値）。 [送りなし]：余白を最小にして複数のラベルを印刷します。最初のみ余白部分を約23 mm挿入し、続くラベルの左右には余白を2 mm挿入します。 [カットなし]：複数枚セットのラベルを印刷する場合、または特殊テープを使用する場合に使用します。[テープ送りとカット] 機能を使って手動でラベルをカットします。 [特殊テープ]：特殊テープに印刷する場合に使用します。 [メニュー] → [カット形式] → [確認] → [余白の種類を選択]

定型レイアウトを設定する

用途別ラベル作成		お気に入りのデザインをテンプレートとして使用します。 [設定] → [定型] → [用途別ラベル作成] → [テンプレートのカテゴリを選択] → [確認] → [テンプレートを選択] → [確認] → [文字を入力]
フリーラベル作成		ブロックレイアウトパターンをテンプレートとして使用します。 [設定] → [定型] → [フリーラベル作成] → [テープ幅を選択] → [確認] → [ブロックレイアウトを選択] → [確認] → [文字を入力]
表形式ラベル作成		行数と列数を指定して、ラベルテンプレートを作成します。 [設定] → [定型] → [表形式ラベル作成] → [テープ幅を選択] → [確認] → [行数] → [列数] → [値を設定] → [確認] → [文字を入力] → [各文字フィールドで繰り返す]

ラベルを印刷する

プレビュー		印刷前にデザインの最終確認をする際に使用します。
印刷		印刷を開始します。 ラベルを1枚印刷する場合： → / / 複数枚のラベルを印刷する場合： → → 印刷枚数を選択 → / /
連番印刷	+	ラベルの数字やアルファベット部分を順番に変更させて、連番で印刷する際に設定します。 数字やアルファベットを入力 → + → → [連番印刷] → / → → 開始位置を設定 → / → → 終了位置を設定 → / → → 印刷枚数を選択 → / /
ミラー印刷	+	左右反転させて印刷します。 ガラスの内側に貼って外側から読めるラベルを作成します。透明テープに印刷します。 文字を入力 → + → → [ミラー印刷] → / → / /
バーコード印刷		バーコードを作成して印刷します。 → → [バーコード] → / → → 設定項目を選択 → → 設定内容を変更 → / → バーコードデータを入力 → → → 記号を選択 → / → /

その他

テープ送り とカット	+	テープを約23 mm送ってたるみを取り除いてからカットします。 +
---------------	---	--------------------------------------

その他（続き）

保存		ラベルを保存しておき、後でまた開いて編集・印刷ができるようにします。上書きしたり編集したデータを保存したりすることもできます。 保存できる最大ラベル数：99ファイル ファイルごとの最大文字数：280文字 ラベルを作成 → → → [保存] / → → 保存先を選択 → /	リセット		内部メモリをリセットします。例えば、ラベルライターをリセットしたり、保存したラベルデータを削除したりできます。 → → [設定] → / → → [リセット] → / → → リセット方法を選択 → / → 確認メッセージ → /
----	--	---	------	--	--

ラベルライターの使用に関する詳細は、サポートサイト (support.brother.co.jp) の「ユーザーズガイド」を参照してください。

記号と枠

記号の例 (/)

枠の例 (→ → [枠])

定型レイアウトの例 (→ → [定型])

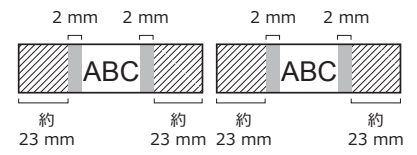
記号と枠に関する詳細は、サポートサイト (support.brother.co.jp) の「ユーザーズガイド」を参照してください。

余白を設定する

デフォルトでは、各ラベルの始めに約23 mmのラミネート余白を挿入する設定となっています。この余白を小さくするには、連続して複数枚のラベルを印刷します。
複数枚のラベルを印刷する場合、2枚目以降のラベルの左右の余白も変更することができます。
[送りなし] を選択すると、余白を最小にしてラベルを印刷します。最後のラベルの印刷が終了するまでは、テープを送らないでください。最後のラベルの印刷が終了したら、[テープ送りとカット] 機能を使って手でカットします。

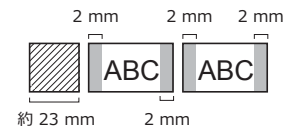


余白あり



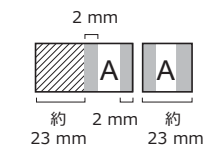
余白小

ラベル長が約23 mm以上の場合

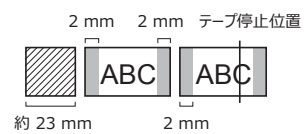


余白小

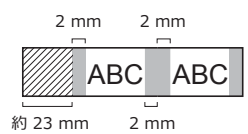
ラベル長が約23 mm以下の場合



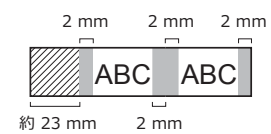
送りなし



カットなし



特殊テープ



エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処
入力桁数不足です。	バーコードデータに入力されている桁数が、バーコードパラメーターで規定されている桁数と一致しません。正しい桁数を入力してください。
カッター異常です。	カッターユニット内にテープが詰まっている場合、テープを取り除いてください。ラベルライターの電源を切って電源を入れ直してから続行してください。
ラベル長制限超過。	入力した文書を印刷したラベル長が999 mmを越えています。ラベル長が999 mm未満となるように文章を編集し直してください。
ラベル長超過です。	入力した文書を印刷したラベル長が設定を越えています。設定したラベル長におさまるように文章を編集し直すか、またはラベル長設定を変更してください。
システムエラー XX	ブラザーコールセンターにお問い合わせください。

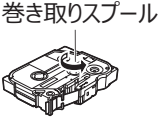
困ったときには

さらにサポートが必要な場合は、support.brother.co.jpを参照してください。

問題	対処方法
ラベルライターで印刷できない。	<ul style="list-style-type: none">• テープカセットが正しく挿入されていることを確認してください。• テープカセットが空になっている場合は、交換してください。消耗品や付属品を注文される場合は、global.brother/en/gatewayを参照してください。• カセットカバーがきちんと閉まっていることを確認してください。• ラベルライターの電源が入っていることを確認してください。• パソコンまたはモバイル端末のBluetooth設定がオンになっていることを確認してください。• Bluetooth接続でラベルライターとパソコンまたはモバイル端末が接続されていることを確認してください。• Brother iPrint&Labelアプリで、ラベルライターが選択されていることを確認してください。• ラベルライターが他の機器とペアリングされていないことを確認してください。• ラベルライターとモバイル端末またはパソコンが通信可能な範囲内にあることを確認してください。

困ったときには（続き）

問題	対処方法
ラベルライターで印刷できない。	<ul style="list-style-type: none">• 別のパソコンまたはモバイル端末のBluetooth自動再接続設定が無効になっていることを確認してください。• 電波を放出する機器（電子レンジなど）が近くにないことを確認してください。• Windowsのパソコンから印刷する場合は、適切なプリンタードライバーがインストールされていることを確認してください。• パソコンから印刷する場合は、USBケーブル（同梱）を使ってラベルライターをパソコンに接続してください。• 印字ヘッドが汚れている場合は、綿棒かヘッドクリーニングテープ（TZe-CL4、オプション）を使ってクリーニングを行ってください。
<ul style="list-style-type: none">• テープがきちんと出てこない。• ラベルライターの中にテープが詰まっている。	<ul style="list-style-type: none">• テープが折れ曲がっている場合、ハサミで曲がった部分を切ってください。• テープが詰まっている場合、テープカセットを取り外して詰まったテープを取り除き、ハサミで詰まった部分を切ってください。• テープの先端がテープガイドを通っていることを確認してください。• テープがテープ排出口に向いていることを確認してください。• テープカセットを取り外して、挿入し直してください。
モバイルアプリの使用中にエラーが発生した。	モバイルアプリの設定メニューを開き、 サポートページ > よくあるご質問(Q&A) の順に開いてください。
画面がロックされている。またはラベルライターが正常に動作しない。	本ガイドの「 基本的な操作 」を参照し、ラベルライターの内部メモリを工場出荷状態にリセットしてください。ラベルライターをリセットしても問題が解決しない場合、ACアダプターをコンセントから抜いて電池を外し、10分以上置いてください。
電源を入れても画面の照明が点かない。	電池が正しく挿入されており、ラベルライターに同梱のACアダプターが正しく接続されていることを確認してください。
ラベルの印刷中、ラベルライターが停止してしまう。	<ul style="list-style-type: none">• 縞模様のテープが出てきたら、テープカセットは終了ですので、テープカセットを交換してください。• 電池をすべて交換するか、またはラベルライターにACアダプターを直接接続してください。

問題	対処方法
以前に保存したラベルファイルを使用できない。	電池が少なくなっている場合、またはACアダプターが接続されていない場合、内部メモリに保存してあるファイルはすべて削除されます。
<ul style="list-style-type: none"> 正しい手順に従っても、プリンタードライバーをインストールできない（Windowsのみ）。 プリンタードライバーをインストールしたのに、P-touch Editorのリストにラベルライターが表示されない（Windowsのみ）。 	<p>プリンタードライバーをインストールしたのにラベルライターを使用できない場合：</p> <ol style="list-style-type: none"> ご使用のモデルのページ（support.brother.co.jp）からプリンタードライバーアンインストーラーをダウンロードします。 プリンタードライバーアンインストーラーを使って、ラベルライター情報を削除します。 プリンタードライバーのインストーラーを再び実行し、画面の指示に従ってインストールを進めます。
インクリボンがインクローラーから外れてしまった。	<p>インクリボンが切れている場合は、テープカセットを交換してください。切れていない場合、テープをカットせずにテープカセットを慎重に取り外し、巻き取りスプールに緩んだインクリボンを取り外してください。</p>  <p>巻き取りスプール</p>
印刷されたバーコードまたはQRコードが読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> テープを交換してください。（推奨：白いテープに黒字） 使用しているアプリでバーコードまたはQRコードを拡大してください。
ラベルライターのファームウェアバージョンが分からない。	<p>以下の順にキーを押すと、ファームウェア情報を確認することができます。</p> <p>[M] → → → [設定] → [OK] / [確定] → ▼▲ → [バージョン情報] → [OK] / [確定]</p>
文字サイズを大きくできない。	ラベル幅で使用可能な最大サイズとなっています。または、ラベル長が設定してあります。この場合、設定されたラベル長を越えることがないよう文字サイズに制限があります。
複数枚のラベルを印刷する際、最後のラベルがきちんとカットされない。	送りなし印刷が有効になっている場合、テープを送って最後に印刷したラベルを排出してください。

問題	対処方法
ラベルを印刷する際、文字の左右の余白が大きすぎる。	<ul style="list-style-type: none"> 本ガイドの「余白を設定する」を参照し、[余白小]、[送りなし]、[カットなし]のいずれかを選択すると、余白を小さくすることができます。[余白小]に設定すると、新しいラベルの前には約23 mmの余白が挿入されます。テープを節約するには、[送りなし]を選択してください。最後のラベルの印刷が終了したら、[Qシフト]と[Q]を同時に押して、テープを送ってカットします。 新しいラベルの前には約23 mmの余白が作成されます。複数枚のラベルを印刷する場合、2枚目以降のラベルの余白を小さくすることができます。オプションの印刷設定で、[送りなし]を選択します。次に、ラベルを印刷し、新しいラベル印刷の準備ができるまでは、ラベルライターに最後のラベルを残しておきます。 最後のラベルの印刷が終了したら、[Qシフト]と[Q]を同時に押してテープを送り、最後のラベルを排出してカットします。この方法では、次の新しいラベルの前に約23 mmの余白が挿入されます。
P-touch Update Software、Transfer Express、Mac Update Toolでラベルライターのファームウェアをアップデートできない。	ラベルライターを再起動してから、ファームウェアのアップデートをやり直してください。ファームウェアのアップデート中は、どのボタンも押さないでください。

連絡先情報

お近くのブラザーの窓口への連絡先はsupport.brother.co.jpを参照してください。